

父 日浦輝夫 母 アキ子  
(中央通り四)  
名前の由来は姓ともつりあ  
い、字の画数も良いとい  
うこと……。  
一人歩きのできる子にな  
ってほしいが両親の願い。  
綾子ちゃん(一歳)



雅子ちゃん(一歳三か月)  
父 渡辺万逸 母 アイ  
(朝巻)  
名前の由来は女の子です  
から少しでも、おくゆかし  
く育ってくれればと思  
い、付けました。やさしい子  
になってほしいですネ。

### あなたがいっぱい

市社会福祉協議会にご寄付くだ  
さいました。  
▷小林立昇さん(真木) 20,000円  
▷第一中学校生徒会 3,725円

### 4月の結核予防接種 (ツベルクリン、BCG)

対象者 昭和48年4月1日～50年12月31日  
までに生まれた子ども(生後3か月～満  
3歳までにツ反を接種してBCGを1回  
でも受けた人は除く)  
費用 無料

対象地区	接種日時		会場
	接種	ツ反判定	
新飯田地区	12日	14日	新飯田駐在室
白井地区(下赤波、引越、西笠巻を含む)	12日	14日	白井 "
茨曾根地区	19日	21日	茨曾根 "
大郷地区(下赤波上・中・下笠巻を除く)	19日	21日	大郷 "
根岸地区	20日	22日	根岸 "
鷺巻地区(西笠巻、引越を除く上・中・下笠巻を含む)	20日	22日	鷺巻 "
白根地区(戸頭、田中、古川を含む)	21日	23日	旧白根中学校
小林地区	21日	23日	小林駐在室
田中、戸頭を除く庄瀬地区	21日	23日	庄瀬 "

### 母子健康センターご案内

(午後1時30分～午後2時30分)

しごと	4月	該当者
離乳食実習	9日	50年12月中に生まれた乳児
妊婦検診	13日	妊娠7か月を過ぎた人
妊婦検診	14日	妊娠7か月に満たない人
3歳児検診	16日	48年3月中に生まれた幼児
3か月乳児検診	26日	51年1月中に生まれた乳児
ツベルクリン反応接種	26日	50年10月中に生まれた乳児
6か月乳児検診	27日	51年1月生まれ乳児で26日にツ反接種したもの
3か月児、ツ反判定、BCG	28日	51年3月中に妊娠届けをした人
母親学級	23日	

### 今月の当番医

◇都合で変更もあります。

4月	医院名	地区	電話
4日	和貝医院	白根	72-2254
11日	和田医院	白根	72-3800
18日	関川医院	新飯田	025374-2002
25日	桑原医院	白根	72-3185
29日	渡辺(信)医院	茨曾根	025375-2124
5月2日	水戸部医院	白根	72-2313
3日	大野医院	庄瀬	72-2930
5日	広川医院	白根	73-5201

# 家庭



## 婦人と組織活動

### 必要なんです

# 家庭と地域 明るいづくりには…

生活の多様化にともない、各地区にある婦人会や婦人学校など、婦人だけで組織する団体やグループをとりまく環境が、一層きびしさを増しています。こんな折、今日の活動内容を見直し、さらに確立した組織づくりをめざそうと『婦人会・学級研修会』が、二月十五日青年教育センターで開かれました。明るい家庭・地域づくりにはなくてはならない組織なのですが――

### カキケコ婦人に

午前中は、元新飯田小学校教諭更科アイ氏が『これからの婦人のあり方について』講演。「裁縫、仕事、炊事、洗たく、掃除ばかりしているサンスエソ婦人から管理、記録、工夫、計画行動をかねそなえたカキケコ婦人になってほしい」と述べられ――社会情勢に対応できる価値ある婦人への脱皮が、これからの婦人層が求めているかなければならない課題だと、感じられました。

### なり手のない役員

午後からは『婦人学級の学習活動をより活発にするには』、『魅力ある婦人会活動について』の分科会。婦人会と学級に分かれ熱心な討議が行なわれました。各分科会で出された問題は次



この分科会では、趣味と実益をかねた学習は人気があるが、講義などはさっぱり人が集まらないなどの問題が出され、柔軟な組織編成と学習内容の再検討が必要となっているようです。

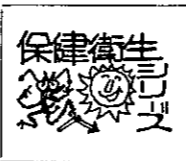
魅力ある婦人会活動について農村部の婦人会では、兼業農家が増え会員の不足をきたして

### 組織員としての自覚を

以上が分科会での討議の要点ですが、めざす組織活動と現実の組織活動には大きなズレがあるようです。『よりよい活動』を推進するには、なんといっても会員、あるいは学級生の一人一人が組織の一員であるとの自覚と、お互いに連帯感、信頼感を持つことが一番大切なのではないでしょうか。そのためには仕事を各会員に分担し、責任を持たせることも意識の向上を図るための方法だと思えますし、家庭の理解も必要となってくるようです。

## 心の健康を守るために

人間はだれでも、病気になることを望む人はいません。それだけにからだの健康には気を配りますが、心の健康には無関心なようです。私たちは、いろいろな欲望を持っていますがその欲望が全部満たされるとは限りません。そして欲望が満たされないと、欲求不満になります。弟や妹が生まれたとき、母親の愛情を独占しようと、弟や妹をいじめたり、夜泣き、夜尿症をひきおこすことはよく知られています。



成長するにつれて、合理的な解決手段を見つけ、社会に適應するようになりませんが、中には適応性を欠き、異常な行動を示す子もいます。たとえば、登校拒否や自閉症、また、非行に走るなどです。中には、もう想やウツ状態、不眠状態になり、自殺すること

要求が増大するでしょう。心(精神)の病気は、体の病気と同じように、だれでもかかる可能性があります。その意味で特殊な病気ではなく、自分だけはだれじょうぶと思うのは誤りです。かつて、結核が不治の病として恐れられていたものですが、治療法の確立した今、結核を偏見の目で見る人はいません。それと同じで、精神疾患も徐々に原因が究明され、治療法も進歩してきています。そんな意味でも、精神病患者は皆さんの支えが必要なのです。意味のない偏見はすててどうか暖かく見守ってほしいと思います。

### 入園・入学シーズン

子どもを事故から守りましょう!

### 春の全国交通安全運動

4月6日 → 15日



誇れる郷土にきれいな川…… 信濃川、中の口川を大切に